

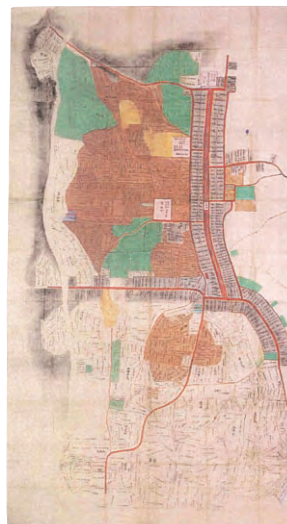
喜多方の略年表

喜多方の略年表

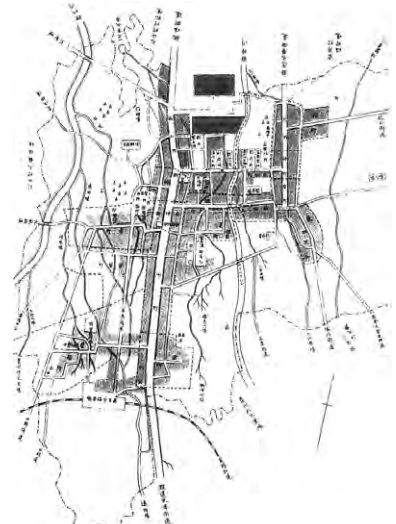
時代	縄文	弥生	平安				室町			安土							
			大同	天喜	大治	文治	永和	天文	永祿	天正			慶長				
年号			2	3	5	5	1	5	7		7	10		17	18	6	
西暦			807	1055	1130	1189	1375	1536	1564		1579	1582		1589	1590	1601	
喜多方の歴史の概要	雄国山麓に人が住み始める。	水耕耕作が伝わり、集落が低地に広がる。				佐原十郎義連が会津最初の領主となる。	諏方神社を信州諏訪郡より小荒井村へ勧請する。	大洪水がおこり、押切川ができる。						伊達政宗が磨上原の戦いで芦名氏を破る。	蒲生氏郷会津に封ぜられる。		
まちの形成に関すること	6 ページ				8 ページ			小荒井村に毎月2と7の日を市日と定めて六斎市を開く。 芦名盛氏の下知で小荒井の町割をする。 (これ以前に中田付に市があったと言われている)				左瀬大和が小田付の町割をした。 三斎市となる。	10 ページ				熊倉村に月六斎の市がたつ。
文化・思想に関すること			僧「徳一」が恵日寺を開き会津に仏教文化が栄える。			源頼義が紀州より熊野三社を河東郡熊野堂村に勧請する。					9 ページ						
						松野千光寺経塚がつくられる。											



小荒井村絵図 享和2年(1802)
ふれあい通り沿いにまち並みが形成されている



小田付村絵図 明治初年頃
小田付のまち並みの様子



喜多方市全図 大正8年(1919)
喜多方駅の設置により駅前にも市街地が形成される

